

26年6月12日 神戸学院大学 銀行論講義 QA

質問	回答
<p>今、少額から投資を始めたとして、社会人になった時には、月々の投資額を上げていくべきですか？</p>	<p>幾ら投資をするかは個人の自由です。正解もモデルケースもありません。自分の収入と支出、ライフプランや貯蓄目標に応じて、自分で考えて決めて下さい。 ここから私見ですが、大学時代は投資よりも大学生活を充実させるためにお金を使うのが良いと思います。但し、経験・体験のために毎月1000円でもよいのでNISA口座で投資信託の積立購入(積立投資)をお勧めします。その上で、社会人になってから、自分で投資額を増やすか減らすかを考えればよいと思います。</p>
<p>今、銀行は破綻するような可能性があるのか知りたいです。</p>	<p>今の状況で近い将来に銀行が破綻する可能性は低いと思います。経営が危機的状況だと言われている銀行も思い当たりません。 一方で、信用組合では、去年の「いわき信用組合」や今月の「ウリ信用組合」などの大がかりな不正が事件になっています。これらの信用組合は破綻はしていませんが、信用状態はかなり悪化しています。 上場している銀行は、外部の監視が強くなり、経営が揺らぐほどの事件や不正が起こり難い一方で、非上場の金融機関は、公開情報が限られ、監視も上場企業ほど厳しくないもので、注意が必要です。</p>
<p>金融業界に就職したいときに必要な資格というのはあるのか</p>	<p>保険会社なら「生命保険募集人資格」、「損害保険募集人資格」、証券会社なら「証券外務員」、銀行なら「証券外務員」を必要とすることが多いです。他にも「変額保険募集人資格」などもあり、これらの資格は実務を行う上で必要な資格です。他に必要資格ではありませんが、FPも取得を推奨されることが多いです。 ただ、これらの資格はほとんどの企業が内定後や入社後に取得させることが多いです。採用時の必須資格は聞いたことがありません。</p>
<p>イオンフィナンシャルでは、窓口業務をほとんど行っていないとお伺いしましたが、実際にはどのような業務を担当されているのでしょうか。 また、海外事業の利益割合が大きいとお伺いしましたが、海外拠点での業務や海外関連の仕事に携わる機会が多いのでしょうか。英語などの語学力は必要になりますか。</p>	<p>「窓口で現金を扱わない」とは言いましたが、窓口業務はしっかりと行っています。 具体的には、①口座開設の受付(預金口座、投資信託口座、外貨預金口座など) ②ローンの受付(住宅ローンなど) ③各種届出の受付(住所変更など) です。窓口業務で特に重要なのは、個人情報保護と本人確認(不正防止)です。 次に海外について、現在の海外駐在員は50~100名程度、日本で海外に関わる業務をメインとしているスタッフは20名前後だと思うので、従業員全体から見ると、数%の割合です。こういった業務に関わる人は英語を使う機会が増えますが、今のところは資格要件(TOEICXX点以上など)は設けられていませんので、希望を出して、語学以外の本人の資質があれば、こういった仕事につける可能性もあります。</p>
<p>NISA口座を開くならどの金融機関が良いですか？</p>	<p>NISAは皆さんにとって、信頼出来て、便利な金融機関であれば、どこでも良いと思います。 但し、NISA口座で株式売買をしたいのであれば、証券会社にNISA口座を開いてください。</p>